

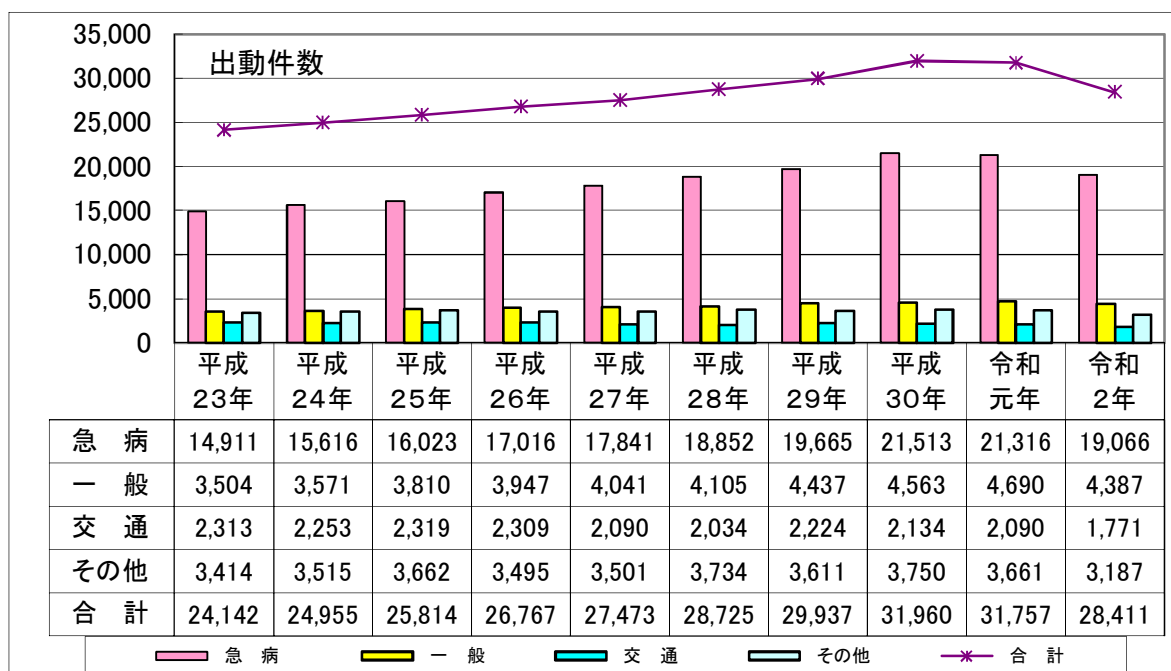
令和2年救急統計（概要版）

- 令和2年中における救急出動件数は28,411件で、前年比3,346件（10.5%）の減少となり、搬送人員は24,450人で、前年比3,251人（11.7%）の減少となっています。

1日平均は7.8件（前年8.7件）であり、約1.8分に1件の割合で救急隊が出動したことになります。

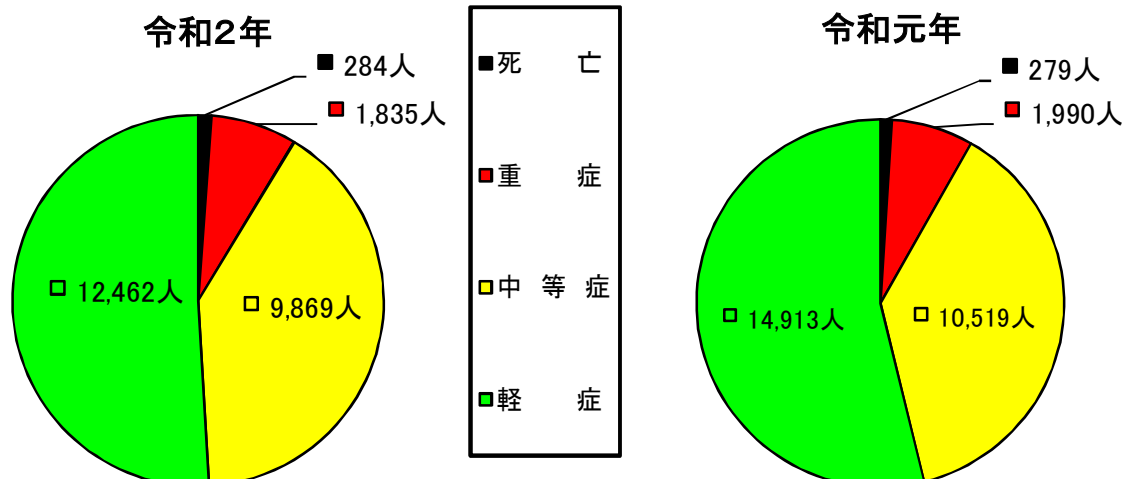
過去10年間の救急出動件数の推移

- 過去10年間の救急出動件数をみると、平成23年以降年々増加していたが、令和元年から2年連続で減少となります。



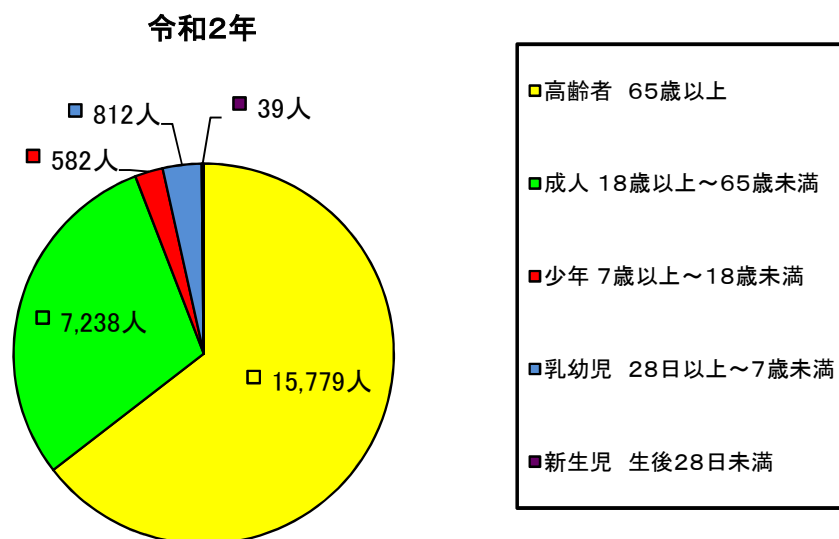
程度別

- 程度別にみると、軽症12,462人（前年14,913人）で2,451人（16.4%）の減少、中等症9,869人（前年10,519人）で650人（6.2%）の減少、重症1,835人（前年1,990人）で155人（7.8%）の減少、死亡284人（前年279人）で5人（1.8%）の増加となります。



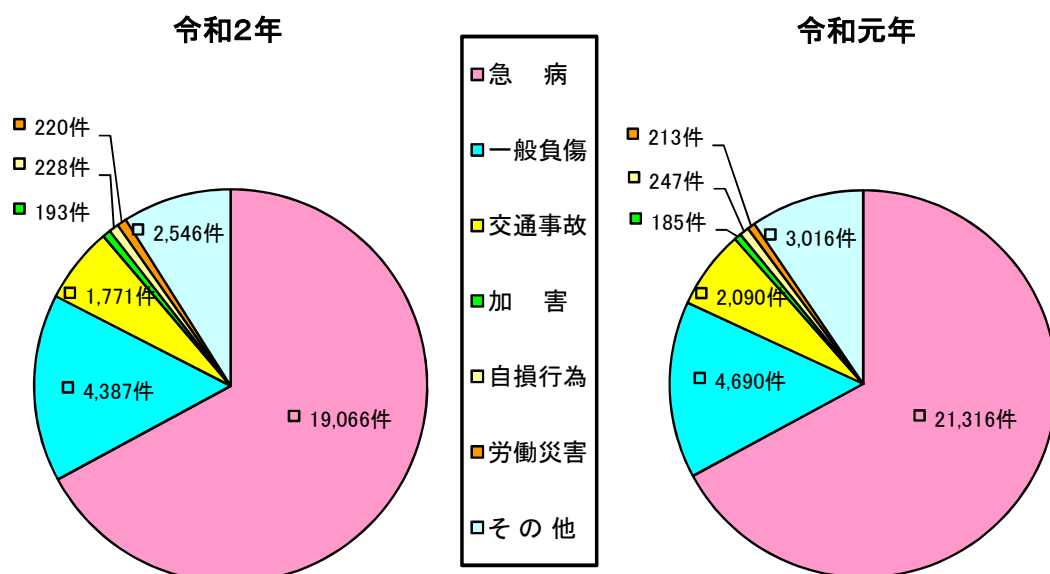
令和2年救急統計（概要版）

- 年齢区分別にみると、高齢者が15,779人で最も多く、全体の64.5%で、以下、成人、乳幼児、少年、新生児の順となっています。



事故種別

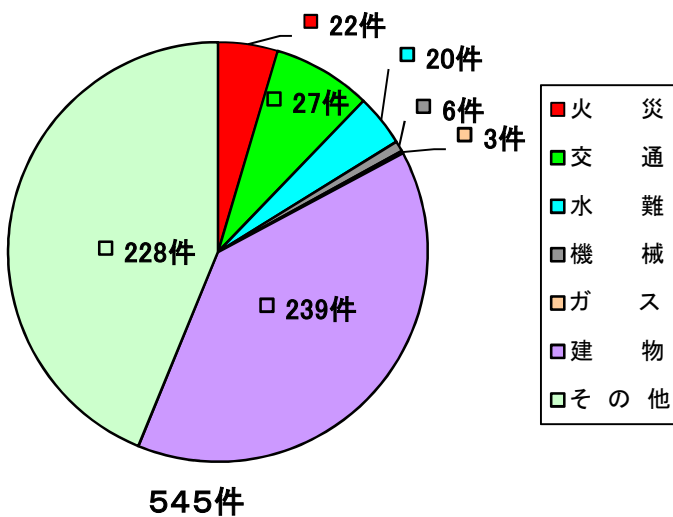
- 事故種別でみると、急病が最も多く全体の67.1%で、以下、一般負傷、交通事故の順となっています。



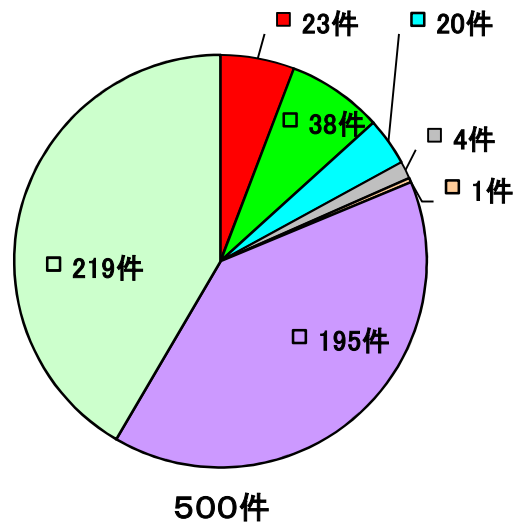
令和2年救助統計(概要版)

- 本市の救助体制は、高度救助隊1隊、特別救助隊1隊、署救助隊2隊、水難救助隊1隊で計5隊の救助隊を配置しています。
- 救助工作車は2台を有し、市域の南部に1台、北部に1台を配置し、あらゆる災害における救助体制の拡充、強化を図っています。
- 令和2年の出動件数は545件（前年500件）で、出動隊数は950隊（前年842隊）となっており、種別ではその他の事故を除き、建物等による事故が最も多くなっています。
- 近年では、室内閉じ込め救助が増加しています。この室内閉じ込め救助とは、何らかの理由により、自力でドアを開けて外に出られなくなった又は室内に人がいると思われるが、安否の確認が出来ない状態のことであり、救助出動件数545件のうち343件(62.9%)がこの室内閉じ込め救助出動となっています。

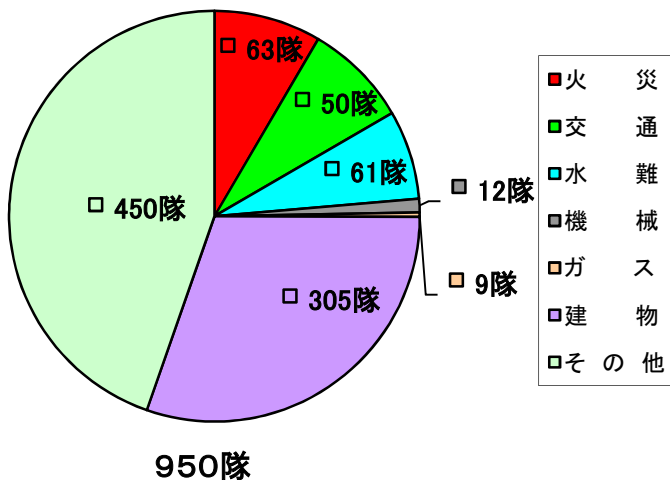
令和2年救助出動件数



令和元年救助出動件数



令和2年救助出動隊数



令和元年救助出動隊数

